



UNION-COMMUNITY かわさき

No.81
2017.1.1

一機関誌一
発行責任者 綱島和彦
編集責任者 館 克則



地域連合

発行 日本労働組合総連合会神奈川県連合会川崎地域連合
川崎市川崎区富士見 2-5-2 TEL044(211)0055 FAX044(233)6942

新年のご挨拶

川崎地域連合議長



綱島 和彦

新年、あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。▼さて、本年のスタートにあたり、私たちが取り組む変化を自覚した労働運動の視点で申し上げます。

▼川崎地域連合の力の源泉は、構成する組合・組合員の声を大切にした団結です。職場・組合員を引っ張る組合役員が多くが仕事と組合を両立させている非専従役員であり、企業組織のスリム化などにより役員の負担は高まってきていることや、組合役員の急速な世代交代もあって、労働運動の継承は組合の大きな課題の一つです。▼私たち組合には、社会の変化を自覚し、社会の不条理に立ち向かう。組合員だけの連帯にとどまらずに全ての働く者が連帯できる、国民の共感を得る運動が求められます。▼川崎地域連合は、「その運動は何故提起されたのか」「その取り組みは職場や地域・社会にとってどんな意義をもつのか」を今以上に皆で共有して、「組織・人と人のつながり」「より多くの組合

員の運動・活動への参加」「組合だからできる情報共有・相談」に十分留意した具体取り組みを展開してまいりますので、構成組合の皆様、引き続きのご理解とご尽力をお願い申し上げます。▼本年が、皆で支え合い、日々の張り・努力が成果となって表れる、そして活気に満ちあふれる幸多い年となりますことをご祈念申し上げます。▼よろしくお願ひします。

連合神奈川会長



柏木 教一

地域連合の仲間の皆さん、あけましておめでとうございます。▼新年を迎え景気よくいきたいのはやまやまですが、なかなか世界中が喧しくなっています。▼最近、持続可能性について考える機会が増えました。高齢化の課題、産業構造の変化、AIやIoTに見られる生活上の変化など、がらがらと変容する時代を通過します。▼社会システムの中で続けるものと変えるものの峻別、根柢の脆弱な人口維持や回復を前提にした政策、極めて都合の良すぎない経済成長を基本に考えざるべきことなどです。▼そのなかで、私たちが着手すべき優先順位は、何といたっても

経済の自律的な成長を作り出すことではないでしょうか。国の持続可能性を担保するには、多くの働く者の生活と、将来不安の払拭が不可欠です。そのために、とりわけ非正規雇用で働いている方々も含めた格差の広がり、防止と、個人消費を上向けるための「底上げ・底支え」が引き続き重要なポイントだと考えています。▼私たちは、認識を共有し、働くことに最も重要な価値を置き、共に生きる社会を希求しています。▼さらに連合の仲間を増やし、影響力を高め、未来に希望を抱ける社会をつくる年としなければなりません。▼本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

オリムピック・パラリンピックが開催され、日本チームも大活躍しました。中でも、男子400m(100m×4)リレーは一人も9秒台がない日本が銀メダルを獲得出来た快挙に日本中が感動しました。これも日本の『チームワーク』がなせる神業だったのではないのでしょうか。▼地域労働団体である「川崎地域連合」の労働運動と「川崎労働協」の福祉活動を両輪とする、強い「チームワーク」を発揮して、「勤労者、市民が真のゆとり・豊かさを実感できる社会」の実現を目指して活動していきま

川崎労働協協会長



小原 洋

新年明けましておめでとうございます。▼皆さまにおかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。▼私は、昨年11月の総会において川崎労働協会長を拝命しました。より充実した勤労者福祉の実現を目指し運動を進めて参りたいと思っております。▼さて、2016年はリオデジャネイロで

家族の皆様には今年一年が実り多く、希望に満ちた年になりますようお祈りいたします。▼さて、川崎市では予測を上回る人口増が続き、今年中には150万人に達する見込みです。特に子育て世代の転入が多く、若い方々に「選ばれる都市」として進化を続けています。そのため、みんなが安心して暮らし続けられる地域づくりが大変重要です。

各区に「地域みまもり支援センター」を設置し、近所での顔の見える関係をつくり、お互いに支え合う取組である地域包括ケアシステムを本格的にスタートさせました。▼今年、小児医療費助成の対象を小学校六年生まで拡大し、待機児童対策にもより一層の力を入れてまいります。さらには、中学校給食も今年中にすべての中学校で温かく、美味しく、健康的な食習慣を身に付けられる「健康給食」の提供を開始します。▼川崎は国内外から色々な人たちが集まり、まちを発展させてきた歴史があります。川崎が持つ多様性は可能性であり、皆が混ざり合う強さとやさしさ

川崎市長



福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。▼組合員やご

力をお願いいたします。

川崎地域連合 第26回年次総会を開催

川崎地域連合は2016年11月30日に労働会館において第26回年次総会を開催しました。▼冒頭、綱島議長は「政府は、一億総活躍社会実現に向けて「働き方改革」を進めています。問われているのは「働き方」ではなく、「働かせ方」の見直しであり、長時間・過重労働を助長させないための是正・撤回など、具体策を取るべき」と呼びかけました。▼さらに「働く者・生活者の安心・安定を求め、組織・人と人のつながりに十分留意し、より多くの組織・組合員の運動・活動への参加に注力しながら、具体取り組みを展開したい」と挨拶しました。▼来賓には、連合神奈川 柏木会長、川崎市三浦副市長、笠ひろふみ衆議院議員、石上としお参議院議員ほか各級議員、労働団体、福祉団体にご臨席いただきました。▼議事は「2016年度一般活動報告、2017年度の運動方針及び役員体制」が提案され、満場一致で決定され、最後に綱島議長の発声により、団結



綱島議長 呼びかけました。▼さらに「働く

者・生活者の安心・安定を求め、組織・人と人のつながりに十分留意し、より多くの組織・組合員の運動・活動への参加に注力しながら、具体取り組みを展開したい」と挨拶しました。▼来賓には、連合神奈川 柏木会長、川崎市三浦副市長、笠ひろふみ衆議院議員、石上としお参議院議員ほか各級議員、労働団体、福祉団体にご臨席いただきました。▼議事は「2016年度一般活動報告、2017年度の運動方針及び役員体制」が提案され、満場一致で決定され、最後に綱島議長の発声により、団結



磯谷 馨さん

退任あいさつ 前事務局長

8年間 お世話になりました。 昨年の11月30日の第26

回年次総会を持って、8年間務めました川崎地域連合の事務局長を退任しました。就任当初は役員経験がありませんでしたので、ほとんどの役員の皆さんとは初対面で、この職責を全うできるか不安な毎日を過ごしました。しかし、役員の方々の人となりを知るとに連れ、何とか活動ができたと思っております。自問すれば、本当にまじめに働く人たちのお役に立てたか甚だ疑問です。でも、皆さんのご協力があつたからこそこの大役を全うできたと思っております。▼思い起こせばと書き始めると長くなりますので控えますが、ひとつ言わせていただければ各級選挙は思い出が一杯あります。詳細は省きますが、この8年間、国政、統一地方選挙、川崎市長選挙とほぼ毎年のように選挙がありました。皆さんには、夏の暑い日も冬の寒い日も朝の早くから夜遅くまで要請に対応していただきました。感謝申し上げます。▼少し長くなりましたが、今は会社に復職しますがばつています。お会いすることがありましたら声をかけてください。本当にお世話になりました。

政策制度要求・提言と地域生活改善要求 川崎市より回答を受領

▼2017年度の重点要求として、①JR南武線の輸送力増強と駅の安全対策、②子どもを安心して生み、育てられる環境の整備、③ヘイトスピーチに対する取り組み、④生活保護受給家庭などの「貧困の連鎖」



福田市長より回答書を受け取る綱島議長

12月14日、川崎市役所第3庁舎にて、福田市長から2017年度に向けた標記要求に対する回答書を受領しました。

対策の推進の4項目。また、全市要求として「産業・労働・雇用」「都市整備」「健康・福祉・医療」「平和・人権」「行政」「道路交通」「生活環境」「環境・エネルギー」「教育」の分野から47項目の要求・提言を行っています。▼冒頭、福田市長より「厳しい財政状況の中であるが、でき得る限りの回答をさせていただきます。生活者目線に立った幅広い提言をいただいたことに感謝するとともに、市政を前進させるパートナーとして、今後ともご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶され、その後関係局より具体的な説明を受けました。市の回答に対し、

委員から多くの質問・意見が出され、活発な意見交換の場となりました。▼川崎地域連合 綱島議長からは「川崎市の真摯なご対応に感謝したい。回答については持ち帰り内容を精査させていただきます」と述べ、一層の協力を確認しました。



第21回「ワーカーズマラソン大会」開催 “晴天の中、287名が参加し、激走！”



晴天でしたが風は強い日でした

毎年、川崎で働く仲間とその家族が相互の交流と理解を深めることや健康増進を目的とした「ワーカーズマラソン大会」を12月10日(土)、多摩川河川敷の古市場陸上競技場を拠点としたマラソンコースで開催しました。今年で21回目の大会は287名の参加をいただきました。競技は小学生2km(低学年12名、高学年9名)、一般5km(男子89名、女子31名)、一般10km(男子130名、女子16名)を種目として行いました。▼晴天ながら風が強い天候でしたが、参加選手の方々は、日頃の練習の腕試しと、思い思いに健脚を競い合いました。また、このマラソンの大会の運営にあたり34名の地域連合役員の方々にお手伝いいただきました。



スタートの合図をする綱島議長

<p>18区(高津区、宮前区、中原区一部)</p> <p>民進党 元衆議院議員</p> <p>詳しくは↓ mimurakazuya.net</p>  <p>三村 和也</p>	<p>10区(川崎区、幸区、中原区一部)</p> <p>民進党 現県議会議員</p> <p>詳しくは↓ www.ichikawa-yoshiko.jp</p>  <p>市川 よし子</p>	<p>9区(多摩区、麻生区)</p> <p>民進党 現衆議院議員</p> <p>詳しくは↓ www.ryu-h.net</p>  <p>笠 ひろふみ</p>	<p>第48回 衆議院選挙</p> <p>連合神奈川 川崎地域連合 推薦者(敬称略)</p>
---	--	--	--